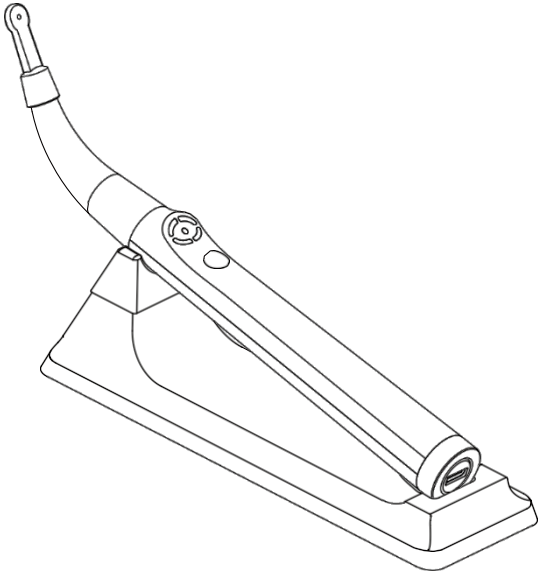


# YAHOPE iD1 歯科インプラント ロケーター

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をお読みください

# 目次
# はじめに

1. 使用上の適応

2. 禁忌

3. 警告

4. 注意事項

5. 副作用

6. 手順ごとの説明

7. バッテリーの充電

8. メンテナンス、洗浄、滅菌

9. トラブルシューティング

10. 技術仕様

11. 記号と定義

1. 使用適応

インプラントロケーターは、2段階インプラント手術において、歯肉組織に覆われたインプラントの位置を特定するために使用される電子機器です。本装置を使用することで、さまざまなインプラントシステムにおいて良好な結果を得ることができます。

2. 禁忌

インプラント・ロケーターは、ペースメーカーやその他の埋め込み型電気機器を装着している患者、またはそれらを装着している医療従事者による使用は推奨されません。

3. 警告

本製品は、病院、診療所、または歯科医院において、資格を有する歯科医療従事者によってのみ使用してください。

4. 注意事項

4.1.蛍光灯、フィルムビューアー、超音波装置など、電磁ノイズを発生させる機器の近くでインプラントロケーターを使用しないでください。携帯電話、リモコン、その他の電磁波を発生させる機器は、インプラントロケーターの異常動作を引き起こす可能性があります。そのような機器は電源を切ってください。

4.2. 装置の動作中は、インプラントロケーターを以下のものから保護してください。

液体の偶発的なこぼれから保護してください。

4.3. 可燃性物質がある場所では、インプラントロケーターを使用しないでください。

4.4. インプラントロケーターは、メーカー純正の付属品のみと併用してください。

4.5. 感染源の伝播を防ぐため、患者ごとにセンサーを交換するか、滅菌してください。

4.6. センサーの近くに金属物があると、
。装置の操作中は、センサーの近くに金属製の物品を置かないでください。

4.7.ご自身の安全のため、個人用保護具（手袋、マスク）をご使用ください
。

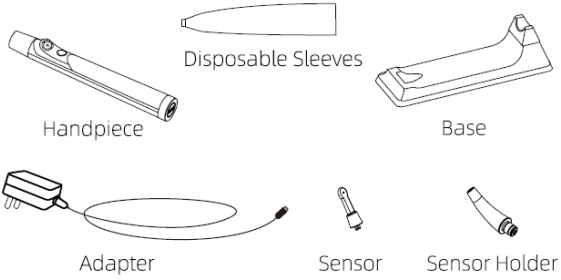
5. 副作用: なし

6. 手順の説明

6.1. 梱包箱の内容

ご使用前に梱包箱の中身をご確認ください：

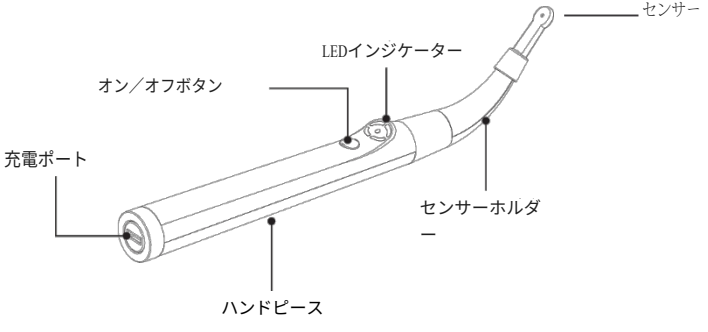
| | |
|---|---|
| ハンドピース | 1個 |
| ベース | 1個 |
| センサー | 3個 |
| センサーホルダー | 1個 |
| アダプター | 1個 |
| 使い捨てスリーブ | 50個 |




## 6.2. インプラント・ロケーターの外観

図1に、インプラント・ロケーターの全体図を示します。注：

センサーは本装置の付属部品です。



## 6.3. はじめに

初回使用前および患者ごとに、本装置とセンサーホルダーは、消毒液を染み込ませたワイプを使用して洗浄・消毒してください。センサーは洗浄し、オートクレーブ処理を行ってください。

6.3.1. 図1に示すように、センサーホルダーを本体に慎重に取り付けてください。

6.3.2. 図に示すように、止まるまでセンサーをホルダーに挿入してください。

図1。

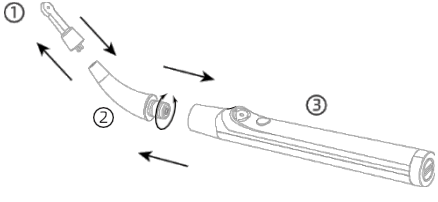
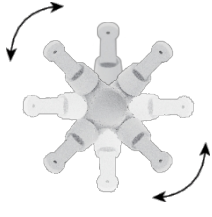
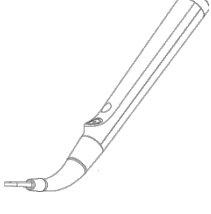


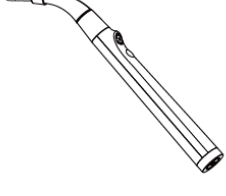

図1.



360°回転可能なセンサー



下顎インプラント用



上顎インプラント用

6.3.3. ボタンを押して、装置の電源を入れてください。

⚠ センサーから10 cm以内に金属製の物体が置かれていないことを確認してください。

6.3.4. セルフテストとキャリブレーション。
装置の操作を開始する前に、セルフテストが実行されます。
1. センサーホルダーが本機に正しく接続されていない場合、またはセンサーがホルダーに挿入されていない場合、赤いセグメントが点滅してエラーが表示されます。10 秒後、本機は自動的に電源が切れます。
2. エラーを修正するには、本機の電源を切り、センサーホルダーを接続し、センサーを止まるまで差し込み、本機の電源を再び入れてください。
3. セルフテストの後、本機は自動校正を行います。
4. 緑色のセグメントが点灯している間は、校正が進行中であることを示しています。校正が完了すると、4つのセグメントが緑色に点滅し、本機が動作可能な状態になったことを示します。

5. ボタンを押すと、前述の自動校正が再起動します。

セルフテストおよびキャリブレーション中にセンサーの近くに金属物があると、デバイスが正常に動作しない、あるいはインプラントの位置測定の精度が低下する恐れがあります。

校正エラーを修正するには、デバイスの電源を切り、センサーホルダーとセンサーが正しく接続されていることを確認してください。必要に応じて、センサーを交換してください。センサーの近くに金属物がないことを確認し、デバイスの電源を再度入れてください。

## 6.4. デバイスの動作

6.4.1. Implant Locator の準備が完了すると、4 つのセグメントが緑色に点滅します（図 2）。



4つのセグメントが緑色に点滅：セルフテストおよびキャリブレーション中



4つのセグメントが緑色に点滅：準備完了

（図 2）

6.4.2. 本装置を口腔内に挿入し、センサー面をインプラントの推定位置からある程度の距離を置いて歯肉上に置きます。センサーの中央の穴は、顎の隆起のほぼ中央に来るようにしてください。センサーを顎に沿ってゆっくりと動かし、隠れたインプラントの推定位置に向かって進めます。





⚠ 正確な測定を行うため、測定のたびに ⏻ ボタンを押してセルフテストとキャリブレーションを行うことを強く推奨します。

⚠ 正確な測定を行うため、センサー面が隙間なく歯茎に常に軽く押し付けられているように注意してください。

⚠ インプラントを覆う歯肉層が厚い場合、インプラントの正確な位置特定が妨げられたり、精度が低下したりする可能性があります。

⚠ センサーを取り付けずに本機の電源を入れると、エラーを示す赤いライトが点滅します。この場合、センサーを取り付けても、本機はエラー状態を表示するか、不正確な検出を行うため、使用前にボタンを 1 回押して再キャリブレーションを行う必要があります。

### 6.4.3. インプラントの位置特定

a. センサーがインプラントに近づくと、4つのセグメントが緑色に点灯します。

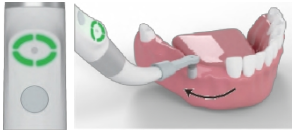
b. セグメントがオレンジ色に変わり、センサーがインプラントの位置を通過したことを示すまで、センサーを同じ方向に止まることなく滑らかに動かし続けてください。

c. 方向を反転させ、センサーを同じ経路に沿ってゆっくりと後退させます。4つのセグメントが再び緑色に変わり、センサーがインプラントに向かって移動していることを示します。停止せずに、センサーを後退させ続けます。

d. センサーがインプラントの位置に戻ると、4つのセグメントが消灯し、中央のドットが緑色に変わり、インプラントの位置が検出されたことを示します。この視覚的な表示とともに、「ディ・ディ」という音声信号が鳴ります。

e. センサー中央の穴を通して、歯科用プローブを用いてインプラントの歯肉上の位置に印を付けます。

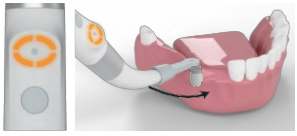
A



緑
センサーがインプラントに接近しています。
同じ方向に進み続けてください。

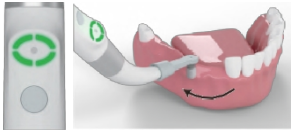
荷田歯科 kada dental
荷田歯科機器・器具・用品の通販

B



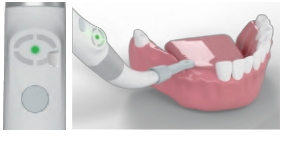
オレンジ
センサーがインプラントの位置を通過しました。
方向を反転 同じ方向に進み続けます。

C



緑
センサーがインプラント位置に戻ります。
逆方向に進み続けます。
逆方向から同じ方向に進み続けます。

D



緑色の点
インプラント位置の検出

⚠ センサーの動きは、停止したり、不必要に進行方向を反転させたりすることなく、滑らかに行う必要があります。そうしないと、誤った測定値が得られる可能性があります。

⚠ インプラントの位置検出が完了する（中央の緑色のドットが点灯する）前に、センサーの動きを 3 秒以上停止させると、自動的にリセットされます（4 つのセグメントが緑色に点滅します）。インプラントの位置検出を最初からやり直す必要があります。

### 6.4.4. クロススキャン

インプラント位置の特定精度を高めるために、頬側-舌側方向への追加のクロススキャンを行うことができます。

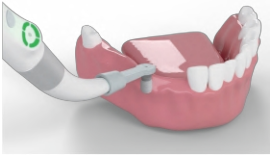


図 10d に示すように、インプラントの位置を最初に特定した後、センサーを頬側-舌側方向にゆっくりと動かし、歯茎に軽く押し付けます。操作手順は、§ 4.3 で説明した手順と同様です。

⚠ インプラントの近くに金属製のクラウン、アバットメント、大きなアマルガム充填のある歯、金属製の器具がある場合、インプラントの正確な位置特定が妨げられたり、精度が低下したりする可能性があります。

### 6.4.5. 複数のインプラントの位置特定

複数のインプラントがある場合は、最初のインプラントの位置を特定してマークした後、次のインプラントの推定位置へと進みます。

a. センサーを顎の隆起に沿ってゆっくりと動かします。中央のドットが消え、4つのセグメントがオレンジ色に変わります。その後、セグメントが緑色に点滅し、インプラントロケーターが次のインプラントの検出準備ができたことを示します。

b. 6.4.3 および 6.4.4 に記載されている手順に従って、インプラントの位置特定を行ってください。

⚠2 本以上のインプラントが近接している場合、インプラント位置の正確

な特定ができないことがあります。

## 6.5. 自動シャットダウン

インプラントロケーターは、1分間使用しないと自動的に電源が切れます。バッテリーの寿命を延ばすため、インプラントの位置特定が完了したら、ボタンを約1秒間押し続けて、デバイスの電源を切ることをお勧めします。

## 7. バッテリーの充電

7.1 バッテリー残量が少なくなると、リングライトが連続して点滅し、赤色に点灯します。

7.2 アダプターをハンドピース底部の充電ポートに接続してください。

7.3 充電中は、リングライトが回転するように点滅し、オレンジ色に点灯します。

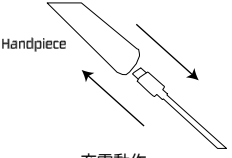
7.4 フル充電になると、リングライトは緑色に点灯し続けます。

7.5 充電時間は約4時間です。



バッテリー残量が少なすぎます

4 セグメントが点滅し、
赤色で表示されます




充電動作



充電中

4つのセグメントが点滅し、
オレンジ色で表示される



充電完了

4つのセグメントが点灯し続け、
緑色で表示されます

1. メーカーが提供するアダプターのみを使用してください。
2. 他社製のアダプターを使用すると、火災、爆発、または製品の破損の原因となる場合があります。
3. 充電中はハンドピースを使用することはできません。
4. バッテリーの消耗が異常に早い場合は、バッテリーの寿命がほぼ尽きていることを示しています。その場合は、弊社カスタマーサービスまでご連絡の上、バッテリー交換をご依頼ください。

## 8. メンテナンス、洗浄、および滅菌

### 8.1. 一般事項

8.1.1 本機器には、ユーザーが修理可能な部品は含まれていません。保守および修理は、メーカーの研修を受けたサービス担当者のみが実施してください。

8.1.2 感染性物質に接触した可能性のあるすべての物品は、使用のたびに洗浄および消毒してください。

8.1.3 このセクションで指定されているもの以外の薬剤を使用すると、装置やその付属品に損傷を与えるおそれがあります。

### 8.2. 装置の洗浄

初回使用前および各治療の合間に、アルデヒドを含まない消毒・洗浄液（殺菌・殺真菌作用のあるもの）を染み込ませたティッシュまたは柔らかい布を使用して、本機器を洗浄してください。

### 8.3. センサーホルダーの洗浄および消毒

初回使用前および各治療の合間に、センサーホルダーを本装置から取り外し、アルデヒドを含まない消毒・洗浄液（殺菌・殺真菌作用のあるも

の）を染み込ませたティッシュまたは柔らかい布を使用して、洗浄および消毒を行ってください。

⚠ 洗浄および消毒処理後、センサーホルダーに目に見える不純物が残っていないことを確認してください。

⚠ このセンサーは、最大 50 回の滅菌サイクルに対応しています。

| | 操作 | 取扱説明書 | 詳細および警告 |
|---|---|---|---|
| | 処理前の使用場所での準備 | 特別な要件はありません。 | |
| 2 | 除染の準備／処理前の準備 | 特別な要件なし | |
| 3 | 洗浄：自動 | このセンサーは自動洗浄には対応していません | |
| 4 | 清掃：手動 | 適切なブラシ、または消毒液に浸したタオルを使用してセンサーを清掃してください | 清掃後、センサー、特に中央の穴の内部およびその周辺に目に見える不純物が残っていないことを確認してください |
| 5 | 消毒 | -可能であれば、タンパク質分解酵素を配合した消毒液にセンサーを浸してください<br>流水でセンサーをよくすすいでください | -消毒剤メーカーの指示（濃度、浸漬時間など）に従ってください<br>-消毒剤は使用しないでください<br>5 オフティ・オン・コントゥ・イン・イング<br>ホルムアルデヒド、フェノール、または製品を損傷させる可能性のある製品は使用しないでください |

| | 操作方法 | 取扱説明 | 詳細および注意事項 |
|---|---|---|---|
| 6 | 乾燥 | 特別な要件なし | |
| 7 | センサーの定期点検および試験 | センサーを目視検査し、センサーのコーティングや接点および中央の穴の金メッキに損傷がないかを確認する | -コーティングや接点に損傷や傷があるセンサーは廃棄しなければならない<br>- 接点または中央穴の金メッキに損傷があるセンサーは廃棄しなければならない |
| 8 | 梱包 | センサーを滅菌用パウチに梱包してください | - 滅菌後の保存期間を判断するため、メーカーが指定したパウチの有効期限を確認すること<br><br>-耐熱性のある包装材を使用してください<br>耐熱性のあるものを使用してください<br>141°C（286°F） |
| 9 | 滅菌 | 注意！重力式オートクレーブ（Tabie Top、N型）にて、134°C (273.2°F)で8分間滅菌してください。 | - 製造元が提供するオートクレーブの保守および操作手順に従ってください<br>- 使用する滅菌パラメータは、本ユーザーマニュアルで検証済みであり、ユーザーに提供されているものに限る |
| 10 | 保管 | 製品は滅菌包装のまま、乾燥した清潔な環境で保管してください | 包装が開封されている、または破損している場合、滅菌は保証されません（シニアを使用する前に包装を廃棄してください）。 |

# 9. トラブルシューティング

カスタマーサービスにお問い合わせいただく前に、提案されている解決策をご確認ください。

| | 問題 | 考えられる原因 | 解決方法 |
|---|---|---|---|
| 1 | デバイスが<br>オン/オフボタンを押しても<br>作動しない | 1. ボタンの故障<br>2. バッテリーの不具合<br>3. 電子部品の故障 | 1. もう一度電源のオン/オフボタンを<br>数回押してみる。<br>2. バッテリーを交換する。<br>3. お客様サービスにご連絡ください。 |
| 2 | センサーが外部の干渉を<br>受けて、誤警報が発生する | センサーの近くに金属製の<br>物体があるため、検出に<br>干渉が生じている。 | オン/オフボタンを一度押して<br>自動自己診断と再起動を行って<br>ください。<br>ハンドピースを使用する前に、<br>再度干渉がないことを確認して<br>ください。 |
| 3 | ボタンを押しても反応せず、<br>4つのセグメントが赤く<br>点滅して表示される | バッテリーの電力が低下<br>している。 | バッテリーを充電する。 |
| 4 | インプラントの位置を<br>示すことができない | 1. センサーが切断されている<br>2. センサーコーティングの<br>損傷、またはセンサーの<br>コーティングが剥がれている<br>3. センサーホルダーが損傷している<br>4. 電子部品の故障 | 1. デバイスの電源をオフにし、<br>センサーの表面をきれいにし、<br>再度装着する。デバイスの電源を<br>オンにする。<br>2. センサーを交換する。<br>3. センサーホルダーを交換する。<br>4. お客様サービスにご連絡ください。 |

## 10. 技術仕様

10.1. 感電に対する保護種別：クラスII

10.2. 感電に対する保護等級：タイプ B

10.3. 充電式リチウム電池：

バッテリー型番：14500、バッテリー容量：850mAhバッテリーには過電圧、過電流、短絡保護機能が備わっています

10.4. アダプター

入力：100〜240V NO/60Hz

出力：5V=== 1A

10.5. 動作条件：周囲温度：+5°C 〜 +40°C

相対湿度：10% 〜 93%大気圧：70kPa 〜 106kPa

10.6. 動作モード：連続動作

連絡先
kadashika.jp@gmail.com
URL:https://www.kadashika.jp/